

プロジェクト写真



施設概要

構造・階数：木造・2階建て
 建築面積：254.40㎡/延べ面積：408.72㎡
 最高の高さ：7.85m/最高の軒の高さ7.65m
 所在地：仙台市宮城野区萩野町
 完成：2018年12月
 材料：宮城県産材スギ
 CLT：壁：5層5プライ(MX60-5-5)
 5層7プライ(MX60-5-7)
 床：5層7プライ(S60-5-7)
 総数量：135.9㎡(CLTのみ)



製作メンバー

設計：意匠・監理/株式会社 盛総合設計
 ：構造・監理/福山弘構造デザイン
 施工者：株式会社 奥羽木工所
 有限会社 キムラ建業(木工事)
 守屋電機 株式会社(電気設備工事)
 株式会社 金華工業商会(機械設備工事) 他
 CLT作製：西北プライウッド 株式会社 / 株式会社 サイプレス・スナダヤ
 CLT加工：藤寿産業 株式会社 / 株式会社 仙台木材市場

協議会 取り組み

本物件は、平成29年度「県産材・木のビルプロジェクト推進事業」として採択を頂いたプロジェクトである。
「宮城県CLT等普及推進協議会」にご協力いただきながら、加工、建方、上棟、完成時の全4回の見学会を実施し、また県内の技術者を対象とした全5回の施工実務者研修を行うことで、県内のCLTの普及を図った。

設計趣旨

1. 宮城県産材の利用
CLT及びその他の材料にも、宮城県産材の木材利用を目指した。使用した木材の約80%以上が宮城県産材の木材となっている。CLTに県産材のスギ材を使用した。土台には宮城県産材のヒノキ材、木製サッシには県産材のスギ材を使用している。また、一部宮城県産FSC材を使用している。
2. 宮城県内の業者で行う
可能な限り、県内の業者で材料調達から設計、施工を行った。設計段階で、一般に流通している木材、金物を使用できるよう検討し、地元大工でも施工しやすい設計とした。
3. CLTの特徴を生かしたデザインとする
一部大きくはね出すなど、従来の木造とは異なるデザインとする。CLTを生かした形状、軒天が印象的な建物とした。
4. CLTを現しの内装とする
構造体でありながら仕上材としてCLTを活用した。直接手で木材に触れ、目で見て、香りを感じることができる、温かみのある内部空間とした。

設計者



【意匠・監理】

所属：株式会社盛総合設計
名前：真壁 深

【意匠・監理】

所属：株式会社盛総合設計
名前：森谷 敦、村田 恭輔



【構造・監理】

所属：福山弘構造デザイン
名前：福山 弘

アクセス

住所：
仙台市宮城野区
萩野町

